



近藤健次氏

【七転八倒-BMLとともに四十年】より

近藤健次氏は大正15(1926)年に袋井市大野に生まれました。上京した後、多くの困難を克服して医療関連会社を創業。現在も、バイオ&医療情報システム企業の代表取締役最高顧問として経営にあられる傍ら、平成9(1997)年に勲五等瑞宝章を授与されました。

平成5年と16年には、旧浅羽町に図書充実のためにご寄付いただき、浅羽図書館に「近藤文庫」が開設されました。平成19年には袋井市に多額のご寄付をいただき、近藤記念館と浅羽記念公園の建設が行なわれました。

近藤記念館は、近藤氏の郷土に対するご貢献を顕彰するために設立したもので、宮田亮平氏(東京藝術大学学長)による顕彰板が設置されています。

【略 歴】

年 号	年 齢	内 容
大正 15年		袋井市大野に、父孝一郎、母りえの四男として生まれる。
昭和 7年	6歳	幸浦尋常小学校(現・浅羽南小学校)に入学。
昭和 12年	11歳	幸浦尋常高等小学校に入学。
昭和 30年	29歳	「株式会社相互ブラッドバンク」代表取締役社長。
昭和 51年	50歳	「株式会社相互生物医学研究所(BIOMEDICAL LABORATORIES)」に社名変更。
昭和 59年	58歳	埼玉県川越市にBML総合研究所を竣工。
昭和 63年	62歳	代表取締役会長に就任。
平成 元年	63歳	「株式会社ビー・エム・エル」に社名を変更。
平成 5年	67歳	浅羽町に図書充実のため1千万円寄付。(1,204冊購入) 自叙伝「七転八倒 -BMLとともに四十年」刊行。
平成 9年	71歳	勲五等瑞宝章を授与される。
平成 13年	75歳	株式会社ビー・エム・エルが、東京証券取引所市場第一部に上場。
平成 16年	78歳	浅羽町に図書充実のため1千万円寄付。(4,167冊購入)
平成 17年	79歳	浅羽町より善行表彰を受ける。浅羽図書館に「近藤文庫」開設。
平成 19年	81歳	株式会社ビー・エム・エル代表取締役最高顧問に就任。
平成 20年	82歳	袋井市に文化振興・生活環境向上のため3億円を寄付。袋井市より市政功労賞を受賞。
平成 22年	84歳	「近藤記念館」(袋井市浅名1021番地)完成。
平成 23年	85歳	「浅羽記念公園」(袋井市浅名1022番地)完成。



袋井市郷土資料館

〒437-1102 静岡県袋井市浅名1021番地 TEL.0538-23-8511
 ■開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
 ■休 館 日：月曜日(但し、その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、その翌日及び翌々日)、12月28日から翌年の1月4日。
 ■施設概要：鉄骨造2階建・延床面積445.45㎡

近藤記念館

〒437-1102 静岡県袋井市浅名1021番地(袋井市郷土資料館に併設)
 ■開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
 ■休 館 日：月曜日(但し、その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、その翌日及び翌々日)、12月28日から翌年の1月4日。
 ■施設概要：木造1階建・延床面積247.90㎡

浅羽記念公園

〒437-1102 静岡県袋井市浅名1022番地ほか
 ■施設概要：総面積7660㎡

袋井市歴史文化館

〒437-1192 静岡県袋井市浅名1028番地(浅羽支所内2・3階) TEL.0538-23-9269
 ■開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
 ■休 館 日：日曜日及び土曜日。祝日法に規定する休日。12月28日から翌年の1月4日。
 ■施設概要：鉄骨造3階建・延床面積752.96㎡

【アクセス】

- お 車：東名袋井ICから南へ車で約20分。「浅名」交差点北側50m。
- バ ス：JR袋井駅「南口・秋葉口」より秋葉中遠線「大東支所・横須賀車庫方面」バス約15分、「浅羽支所」下車。徒歩3分。※1時間に2便程度。

【入館料】

無 料

【ホームページ】

http://fukuroi-rekishi.com



【スタッフブログ】

http://fukureki.hamazo.tv



袋井市郷土資料館
 近藤記念館
 浅羽記念公園
 袋井市歴史文化館

複合施設の経緯

浅羽支所周辺は従来より、公共施設の集積が見られ、袋井市の総合計画において、市南部のコミュニケーションの拠点となる南部副次核に位置づけられていました。

このような背景のもと、平成18年度には都市再生整備計画「浅羽支所周辺地区」を策定し、平成21年には浅羽支所周辺のまちづくりに向けて「浅羽支所周辺整備事業実施計画」、「エントランス広場整備基本構想」が相次いで示され、具体的な整備案が明らかとなりました。

平成22年5月16日には計画の第一弾としてメロプラザが開館し、続く平成22年11月10日には、近藤健次氏をお迎えし、近藤記念館が開館しました。翌年の平成23年11月13日には、南部地域のエントランス(南部の顔)として浅羽記念公園が完成するとともに、歴史文化館が設置されたことにより、支所周辺は、まさに文化財の「収集・保存・調査・展示」を担う施設が集まり、袋井市の歴史文化に関する総合情報センターとして位置づけ、施設全体として『博物館的機能』を有するものとなりました。

複合施設MAP



袋井市 郷土資料館 展示

袋井のあゆみを
考古資料や農具でたどる。

袋井市内から出土した考古資料や、実際に使われていた農具を展示しています。小学校の歴史授業と連携しながら、夏休み期間中には「合同歴史・地域学習展」を、「むかしのくらし体験」では、生活道具を通じて、昭和の頃の人々のくらしを体験していただいています。

- ・考古資料の展示
- ・農具の展示
- ・学習展の開催
- ・むかしのくらし体験

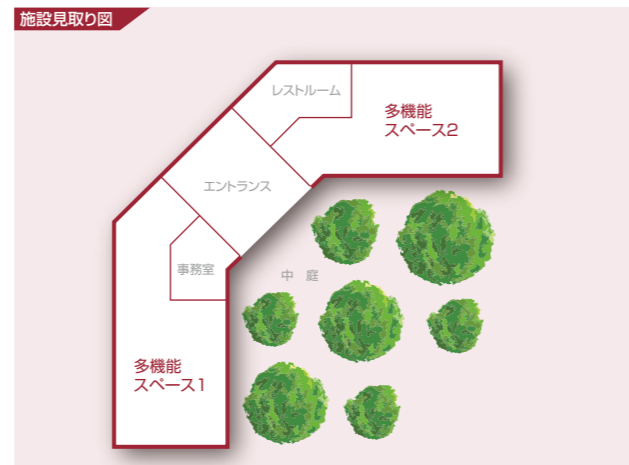


近藤記念館 顕彰

近藤健次氏の足跡から、
郷土を見つめ直す。

記念館と公園整備に多大なご寄付をいただいた近藤健次氏の足跡を顕彰しています。また、市内で行なわれている祭事や民俗行事を展示するとともに、講座を行ない、理解を深めていただいています。浅羽佐喜太郎や駿遠線など、地域に関係の深い歴史情報も合わせて展示しています。

- ・近藤健次氏の顕彰
- ・歳時記の展示
- ・講座の開催
- ・浅羽佐喜太郎の顕彰
- ・駿遠線関係資料の展示
- ・むかしのくらし体験



浅羽記念公園 体験

なつかしの駿遠線、手押しポンプ。
緑いっぱいの中で、ちょっと歴史探検。

駿遠線をイメージした機関車のモニュメントや、駅名を付したオブジェ、田園風景に溶け込む「農の翼」などの彫刻を配置し、手押しポンプとともに、どこかなつかしい、心安らぐ緑の空間をつくりました。園名板は、東京藝術大学学長である宮田亮平先生の作品です。

- ・駿遠線の機関車(モニュメント)
- ・「農の翼」
- ・「復元 足踏み水車」
- ・「駅のおブジェ」
- ・手押しポンプ
- ・むかしのくらし体験



袋井市 歴史文化館 保管

郷土の歴史資料をまるごと
収集・整理・保管・展示。

浅羽支所内にある施設で、市内に関係する古文書や書・絵画・絵図などの貴重な歴史資料と歴史的公文書を収集するとともに、整理と保管を行なっています。また、年に2回の特別展を中心に、所蔵品を展示公開しつつ、古文書講座や講演会を企画し、地域の歴史を学ぶきっかけづくりに努めています。

- ・歴史資料(古文書・絵画・絵図ほか)の展示
- ・古文書講座の開催
- ・講演会の開催
- ・歴史資料の収集・整理・保管
- ・歴史的公文書の保管

